

氏名	八十島 崇	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	トレーニング科学、コンディショニング科学				
学位	博士（体育科学）				
学歴	1997年東京学芸大学教育学部、2000年筑波大学大学院修士課程体育研究科、2004年筑波大学大学院博士課程体育科学研究科				
経歴	2006年九州共立大学スポーツ学部助手、2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授				
所属学会（役職）	日本体力医学会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本バイオメカニクス学会、日本バイオメカニクス学会、日本トレーニング科学学会、日本ストレングス&コンディショニング協会（NSCAジャパン）				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	養護教諭なんでも相談室 子どもの足と適切な靴の選び方と履き方について	単独		心とからだの健康	○八十島崇	2019.8
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
2						
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	健康科学Ⅱ		7	健康行動科学専攻2年次生を対象に今後開講されるトレーニング論や運動学に関する基礎的内容を概説した。		
2	運動学	○	16	スポーツ運動学の概念を基盤に、技術・技能・戦術、質的徴表、運動発達、運動学習について具体的実践例を交えながら概説した。		
3	健康行動科学入門Ⅰ		1	健康行動科学1年生を対象に自分自身の専門領域や学内における担当授業などを概説した。		

(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	トレーニング論	○	15	筋力・パワー・全身持久力などを中心に体力構成要素の解説し、各体力を向上させるためのトレーニング方法と具体的実践例について概説をした。		
2	運動プログラム論	○	15	トレーニング論及びトレーニング実習の内容を踏まえ、対象者に対してトレーニングプログラムを作成・指導するための具体的実践方法を習得させるよう授業を展開した。		
3	課題別演習Ⅰ		15	ゼミの学生6名を対象に、専門領域における文献の検索、読み方などを指導し、抄読会を行った。また、実験の実施やデータ収集、解析など卒業論文作成に向けた作業について概説した。		
4	課題別演習Ⅱ		15	ゼミの学生5名を対象に、課題別演習Ⅰでの学びをもとに文献抄読会を引き続き行った。また、実技演習を通じ、スポーツ現場での実践についての理解を深めた。		
5	運動学実験Ⅰ	○	15	動作解析の研究手法について概説し、データの収集方法及び考察の仕方について授業を行った。		
6	運動学実験Ⅱ		15	運動生理学の講義内容を基盤に、筋力・持久力(全身持久力/筋持久力)・敏捷性・体組成等に関する測定を実施し、各データの収集・解析方法及び考察の仕方について指導をした。		
7	球技	○	15	学習指導要領の球技と位置づけられているベースボール型、ネット型及びゴール型の各種球技種目について、それぞれの特性や競技的魅力を体感できるような授業運営の仕方を念頭において授業を行った。		
8	ウィンタースポーツ		15	ウィンタースポーツとしてスキーの技術的特性を理解し、段階的に指導できるようになるための授業運営を心がけ授業を行った。また、基礎技術の習得だけでなく学生間のコミュニケーションスキル向上に配慮しながら指導を行った。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	教育実習		2019.5～2019.6	教育実習の履修者が、4年次に行った教育実習の巡回指導を担当した(3名)。		
2	養護実習		2019.5～2019.6	養護実習の履修者が、4年次に行った養護実習の巡回指導を担当した(3名)。		
3	ヒューマンケア体験実習		15	担当施設との日程・内容等の調整を行い、円滑な実習実施に努めた。また、学生にとって有意義な実習となるようオリエンテーションや振り返り学習の場面で助言などを行った。		
4	トレーニング実習	○	15	トレーニング論の講義内容を基盤に、主にウエイトトレーニングの実施方法や指導ポイントを踏まえた実践的な授業を行った。		
5	運動プログラム実習	○	2019.11	県民健康福祉村での実習を担当した(1名)。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2019.4～2020.1	主指導	7名	副指導	名
2			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
3			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
(5) その他						
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし					
2						
3						

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	こしがや市民大学特別講座	越谷市	本学において、埼玉県立大学創立20周年共催事業こしがや市民大学特別講座（美姿勢&ウォーキングレッスン～靴選びのコツと正しいフォーム～）を行った。	2019.8.9
2	埼玉県健康運動指導者研修会	埼玉県 県民健康福祉村 管理事務所	埼玉県の公的機関において、健康運動指導士や健康運動実践指導者の資格を有する方や健康づくり担当者を対象に下肢及び上肢の機能に基づいた筋力トレーニングについて紹介した。	2019.9.6
3	東松山市きらめき市民大学での講師	東松山市	東松山市きらめき市民大学にて「身体（からだ）・機能・運動」というテーマで講義を行った。	2020.2.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市	越谷市保健衛生審議会委員		2019.8～2021.7
2	埼玉県	2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会ボランティア部会		2019.4～2020.3
3	草加市	草加市スポーツ推進審議会委員		2018.2～2020.2
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員		2019.4～2020.3
2	学科等における委員会等	教職関連科目担当者会の教務委員会		2019.4～2020.3
3	大学広報活動	オープンキャンパス		2019.6及び8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	特になし			